

時は流れる ありがとう平成

昭和 ～ 平成 ～ 新元号へ

あさひかわ

西高通信



旧上野駅正面玄関



上野で会いましょう

ごあいさつ

第37回 旭川西高東京同窓会実行委員長
36期 西 俊輔

第37回 旭川西高東京同窓会は平成7年以来24年ぶりとなる上野精養軒での開催となります。昭和59年の第2回東京同窓会が上野精養軒で開催され、その後、第4回から第13回まで10年連続で開催されていた場所ですので、なつかしく思われる方々もたくさんいらっしゃるのではないかと思います。今回のテーマは、「ありがとう平成！ なつかしい上野でもう一度集い、語らい、楽しもう！」です。平成最後の東京同窓会となりますが、ぜひ、なつかしい上野で楽しんでいただければと思います。今回ご縁をいただいて実行委員長を務めさせていただく私は、実は4年前に開催された旭川での西高同窓会でも実行委員長を務めさせていただきました。過去、東京と旭川の両方で実行委員を務めた方がいらっしゃったかどうか分かりませんが、旭川と東京では準備段階から進め方が異なることもあって戸惑うことも多かったのですが、経験豊富な実行委員の諸先輩方に助けていただき、なんとか進めることができました。実行委員のみなさまにはこの場を借りてお礼申し上げるとともに、もしも至らないところがあったとすればそれは実行委員長である私の責任ですので、この場を借りてお詫びいたします。それでは、多くのみなさまに上野でお会いできるのを楽しみにしております！



Vol. 35

発行 旭川西高東京同窓会
事務局 東京都台東区元浅草 2-1-17 荒川気付
ホームページ <http://www.anktd.com/>

実施要項

第37回旭川西高東京同窓会 2019年(平成31年)4月27日(土)

- 時間 12:00～14:30 (受付 11:30)
- 会場 上野精養軒
東京都台東区上野公園4番58号
TEL: 03-3821-2181
- 会費 一般会員 8,000円
40歳代(38～47期) 5,000円
20～30歳代(48～67期) 2,000円
20歳未満・現役学生 無料
※別途年会費1,000円を徴収

アクセス

- ・JR上野駅……………公園口より徒歩5分
- ・京成上野駅……………正面口より徒歩5分
- ・メトロ上野駅……………7番口より徒歩5分
- ・都営上野御徒町駅……A3出口より徒歩8分



「想い」を届けるお手伝いをいたします。

心ある「想」続

相続税申告 相続手続き代行
こんなお悩みはございませんか？

□誰に相談していいかわからない
□何から手をつけていいかわからない

相続専任スタッフが対応させていただきます

社長の想いを 継ぐ事業承継

早めの対策で効果が違います
□各種税制を活用した効果的な対策
□周囲の理解を得る円滑な事業承継

決算書診断(簡易診断 30分無料)

株価評価 事業承継対策

早めの対策で効果が違います
□各種税制を活用した効果的な対策
□周囲の理解を得る円滑な事業承継

決算書診断(簡易診断 30分無料)

ふたば税理士法人

〒070-8002 旭川市神楽2条7丁目4-18(大倉クリスタルホール裏) ☎0166-69-2800

中小企業の成長を本気で考える会計事務所

ふたば税理士法人

0120-978-028

受付時間 9:00～17:30(平日)

ふたば税理士法人

〒070-8002 旭川市神楽2条7丁目4-18(大倉クリスタルホール裏) ☎0166-69-2800

第37回西高東京同窓会開催にあたって

旭川西高東京同窓会会長

荒川 繁



皆さん。お元気ですか？

早いもので4月に皆さんとお会いしてから、またまた西高通信でご挨拶をする季節となりました。今年の同窓会は、久しぶりに上野の森（上野精養軒）での開催となります。

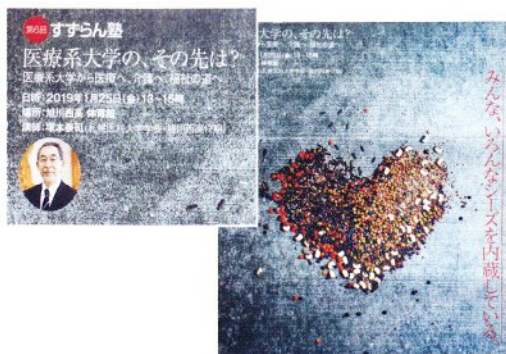
また、1日かけて汽車で上京した私たちにとって、上野駅は故郷と学校・故郷と職場を結ぶ大きな存在でした。また、私事になりますが、上野から徒歩7・8分の所に42年住んでおり、個人的にも上野精養軒での開催は大歓迎です。

平成天皇が退位され、新天皇に代わる記念すべき時期の開催も大変印象深いものになるのではないかと思います。いつもの同窓会と同じ様に、元気に盛り上がりたと思います。

平成最後の第6回（すずらん塾）を2019年1月25日に開催致しました。今回の講師は17期で札幌医科大学塚本泰司学長にお願いしました。すずらん塾は現役西高生と我々OBが直接繋がる大切な行事となりつつあり、今回も1・2年生全員が授業として参加しました。皆さんのお話を聞いた彼らの中から同窓会への参加はもちろんのこと、すずらん塾の講師が近い将来誕生することを期待したいと思っています。これからも先輩の皆さんのご協力を得て、進めてまいりますので、宜しく願います。

すずらん塾

すずらん塾は、現役西高生の進路選択やキャリア形成に役立つ講座を開こうと、東京同窓会の嶋村輝郎氏（9期）の発案で始まったものです。高校のうちから自分が将来就く職業についてイメージを持てるように、旭川西高で1・2年生を対象に毎年開催されています。



旭川西高等学校長 遠藤 孝一



旭川西高東京同窓会の皆さま、いつも生徒達へのご支援、ご声援をいただき、ありがとうございます。生徒は皆さまのご声援に励み、勉強に部活動に全力で臨んで成長し続けて

います。

この機会に、生徒の活躍の様子をお知らせいたします。昨春の進路状況は、国公立大学の合格が102名に達しました。難関私立大学や海外の大学への進学なども併せて、よく頑張りました。スーパーサイエンスハイスクール事業を全校で行うようになって最初の卒業生でしたので、その成果が表れたと思います。

部活動では、陸上・体操・卓球・山岳・バドミントン・テニス・男子ソフトテニス・女子バレーボール・放送・書道・写真・演劇・英語・吹奏楽・音楽・文芸・美術の各部が全道大会に進出し、さらに陸上・放送・写真・書道の各部は全国大会に駒を進めました。まさに文武両道の活躍です。

今後とも生徒たちへの応援よろしくをお願いいたします。

旭川西高同窓会会長 高野 正夫



親愛なる東京の皆様、1年間のご無沙汰です。

昨年4月、新宿ハイアット・リージェンシーでの素敵な出会いから早いもので、もう今年の案内を頂き、誠に有難うございます。謹んで出席を致します。

昨年、皆様に旭川西高同窓会会長として最後の出席と報告させて頂きました。しかし、もう一年延びる事となりました。皆様とお会いできる事、大変嬉しく思っております。

この十数年、東京同窓会に毎年出席させて頂き、年を追う毎に、先輩・同期・後輩の皆様から、沢山の方から温かいお声を掛けていただき、懇意にさせて頂いていただいております。

今後とも出来る限り、出席する決心であります。又、旭川に帰省の際、遠慮なく学校にお立ち寄りください。私も平日でしたら神居の観音霊苑に連絡いただければ、学校・同窓会館でお会いしたいと思っております。

観音霊苑
電話0166-61-1312

この文が皆様に届く頃は、旭川は厳寒の最中、思い出して下さい。あのマイナス20℃の世界を寒さに負けず通った3年間、でも楽しい思い出の3年間、3年春秋です。

平成最後の同窓会を楽しみに、私は越冬してお会いに行きます。

招待恩師 卯城 祐司



西高には昭和58年に新卒で赴任して4年間、36期で副担、37期で担任となり、卒業と共に離任です。担任では学級通信を出し、授業もテニス部も毎日楽しく充実して、生徒指導部も今となつては良い思い出です。昨年、旭川の創立110周年記念祝賀会で懐かしい顔ぶれとも再会しました。

西高を離れてからは、利尻高校、室蘭清水丘高校、北海道教育大学釧路校と回り、現在、筑波大学です。

昨年還暦を迎え、もはや昔の面影はなく、今は良くてジャン・レノ、スティーブ・ジョブズといったところ（髪型が）。

5年前からマラソンを始め、この4年間で16レース（フル14回・ハーフ2回）を走り、一応全て完走し、目標のサブ4も達成しました。四年前に出た旭川マラソンでは、思いがけず、西高の校庭を走り、プラスパンドのみなさんの演奏に涙が出そうになりました。大会後の抽選で、東京マラソンにも出ることが出来ました。東京同窓会、楽しみにしています。

招待恩師 菊田 典昭



此の度、東京同窓会にお招き頂きまして誠にありがとうございます。

私は、昭和57年（1982年）に十勝の足寄高校から旭川西高へ、保健体育の教員として赴任し、平成十二年（2000年）3月までの18年間勤務致しました。

この間、約7500人の生徒諸君を送り出しており、旭川での毎年の同窓会では、多くの教え子達にお会いしています。初めての東京同窓会では、どの様な人達にお会いできるか判りませんが、非常に楽しみにしております。

私は、旭川西高校が5条4丁目にあった頃の9期生でもあります。その当時の友人とも会えたなら、どんなに嬉しいことでしょう。

旭川ラーメン ばいこうけん東京

千代田区丸の内 2-7-2 KITTE 5階
席数 22席 TEL 03-6256-0852



東京駅丸の内南口から歩いてすぐのKITTE 5階に2013年オープンした旭川ラーメンばいこうけん東京に伺いました。

旭川の本店は昭和44年に創業、現在は海外にも幅広く展開し、シンガポール・台湾・香港・ベトナム・ハワイでのラーメンが食べられています。

お昼の時間帯はビル内のサラリーマンのお腹を満たし、夕方からは北の恵みを肴に夜景の見える席での語らいも楽しそうです。店長代理 前川裕也さんは旭川市豊岡のご出身、女性スタッフのキビキビした対応にも満足しました。お酒はもちろん北海道産にこだわりの。

お奨めは独自のしんこ焼、鳥皮唐揚げ、しかしやはり締めはラーメン。いろんなおつまみを頂いてどうしようかと思いきや、ハーフサイズのラーメンが嬉しい。

豚骨と鶏ガラの動物系と煮干しや昆布の魚介系のWスープ。醤油・味噌・塩何れも本当にお奨め。麺も自家製中細縮れ麺、スープが絡みつき、ほっとする味。是非ご賞味あれ。元旦のみお休み。

赤坂の表通りから1本目の角にあるビルの4Fでとても気さくなママさんが迎えてくれました。
赤坂での創業はママさんの実姉が始めた茶亭、お姉さまは旭川西高同窓会の立ち上げにも参加してくれたそうで、とても旭川になじみが深い。
お茶を飲むように気楽に寄るお店として茶亭と名づけたそうです。
ママさんは旭川出身で田丸征子さん、ひがしかわ東京会の会長さんでした。その時の北の旬の食材は旭川から空輸で仕入れていました。場所柄政財界のお客様も多くお見えになるようですし、もちろん北海道の方が断トツだそうです。店内には観光ポスターが張り巡らされており、何故か懐かしい雰囲気です。いろんな方との偶然な出会いに話に花が咲くお店。そしてママさんの笑顔が訪れた人を癒してくれるそんなお店です。お酒よし、お料理よしの二刀流。また店内にはママさんが主宰するクレアアート(粘土芸術)がさりげなく置かれていますが、本物と見まがうほどの作品です。お酒の最後の締めは東川産のゆめびりかのおにぎり、これまた格別でございました。
お休みの関係でお出かけになる際は旭川ラーメン「番外地八重洲北口店」は実弟さんが営業しています。そちらもお奨めです。



北の旬菜 茶亭
港区赤坂3-6-10 舛よしビル4階
電話 03-6697-1289 8517
休日 土・日・祝日・祝前日 席数24

旭川にゆかりのある東京近郊のお店

ペーパンラーメン

神奈川県横浜市南区高砂町 3-34
TEL 045-243-0595
営業時間 11:30 ~ 21:00 (中休み 16:00 ~ 17:30)
定休日 水曜日
席数 13席 カウンターのみ



横浜市営地下鉄グリーンラインで吉野町下車 海側(南)へ4分ぐらい交差点右方向へ、旭川ラーメンの赤のれんが目立ちます。外観は少々古びた感がありますが、カウンターに座ると壁面、フードのステンレスがピカピカに磨き上げられ、清潔感言うことなし。壁左手には旭川天金の広告が、右壁には鮭の木彫りが、旭川を漂わせています。女将は、旭山動物園近くの米飯(ペーパン)ご出身。旭川天金で修業をし、23年前にこちらへお店を出したとのこと、ラーメン専門のお店です。醤油野菜チャーシュー麺を注文。見てびっくり、チャーシューが山盛りで麺が見えません。もやし、ニンジン、玉ねぎ、ねぎ、挽肉入り。麺は旭川より取り寄せ、中細麺、豚骨醤油味。女将の優しさが、麺に乗り移って、味を増していました。美味しく頂きました。

旭川アンテナショップ 旭川食べマルシェ
新宿に旭川のアンテナショップがある。場所は都営大江戸線・東新宿駅上のイーストサイドスクエアのロイン。2018年11月3日に開設5周年のイベントがあるというので、ぶらり探訪。
旭川市経済交流課の村上さんにアンテナショップの効果をお聞きしたところ、オープンしたのは2014年9月で、今は百品目を並べるようになった。最初は旭川で何処にあるの?と知らない人もいたが、最近ではよく認知されつつあると感じるそう。
旭川物産協会の藤原さんが、月に1度は販売実績を見て商品を細かくチェックしている。2018年の夏は猛暑だったので旭山動物園のアイスクリームが良く売れ、その年の8月に過去最高の売上を記録した。意外なところでは、スズメのぬいぐるみ、ハッカ入浴剤が好評とのこと。昔ながらのカステラ(今はビタミンカステラと呼んでいる)、蔵生、ラーメンもよく売れている。
旭川観光大使を務める旭川出身の朝妻さん(サラリーマン応援チアリーダー)がおられ丁寧な説明して下さるので、白樺樹液の森の妖精をついて買ってしまった。ついでに、ゆめびりかと米麺をついた甘酒も!この甘酒はとっても美味し!藤原製麺のラーメンも当然ながらゲット。2019年の5月にもイベントがあるそうですので、新宿で旭川の雰囲気を感じては如何でしょう!



新子焼き
旭川名物
●新子焼き (3個入り)
...5,550円(税込)
親子2代 西高卒です

ちゃんぷ焼
大好評
●ちゃんぷ焼 (2袋4食入り)
...2,750円(税込)
旭川 ぎんねこ
090-8904-9992



新宿イーストサイドスクエア B1F
ローソン新宿イーストサイドスクエア店

旭川から上野・三島の旅程 3期 栗野昭一郎

テーマ「上野でもう一度に」、旭川から上野・三島までの旅程を再現して見ました。

戦後の安定を見た昭和28年(66年前)藤本利男先生より「進学しなさい」との助言で、決意、日本大学工学部(現理工学部)に合格。4月初旬、三島教養部の三島に向けて上京。旭川発17時15分急行「大雪」に人生の新しい門出をのせ函館へ。夕日が深川付近で、ゆっくり沈む。長万部、五稜郭を過ぎて、下車準備に、騒めき出した。早朝4時30分函館に到着。青函連絡船をめざして、走る。函館6時15分出港、汽笛がボーと鳴り、ドラの音「蜚の光」の哀調に送られ、前途の不安を感じながら、津軽海峡を渡った。青森10時55分に接岸。青森発11時30分急行「きたかみ」に、日本一の最長ホーム(356M)を、我先と疾走、いざ上野へ。駅弁とそばを何回か食べ、誰とも話さず余裕もなく、「松島やあか松島や松島や」、仙台は、暗闇の中、寝息だけが聞こえる。朝日の霞ヶ浦で、予科練の地と知る。夢、希望、不安が交差の寝惚け眼で、「しよっぱい河をだてに渡るな」と、5時20分、桜満開の上野に着いた。旭川・上野間、実に36時間50分の長旅でした。休息をとり、東京から三島へ。小田原で、緑色の蜜柑に驚く。谷田トンネルを抜けると、秀峰富士が聳える三島。疲れ果て、やっと下宿先に辿り着いた。旅の終点は、三島ですが、人生の出発点でもあります。恩師、「一人」との出会いで、多くの「財産」をいただきました。

因みに、昭和32年7期、廣野 貴之君の旭川・上野間急行「大雪」「みちのく」同ルートで29時間45分でした。4年間で6時間20分の短縮です。



日本大学三島教養部

- 4・5 東京以北時刻改正。急行「みちのく」を201・202列車に、急行「きたかみ」を3203・3206列車に変更(但し、同年11月11日、「きたかみ」は203・206列車に変更)。
- 3203レ 上野15:55→仙台22:10→青森 6:00
3206レ 青森22:45→仙台 7:20→上野13:35
- 8・1 上野駅に鉄道旅行者救護相談所を開設。
- 11・11 京浜東北線の婦人子ども専用車を廃止。
- 12・14 公衆電報用印刷電信機の使用を開始。

昭和28年4月の
上野駅の記録
上野100年史から

私と上野 13期 綱島 正寛

旭川を離れて50年を過ぎ、遠からず60年を迎えます。この半世紀以上を『上野界限』で生きて来たことは、私にとって密かな誇りでもあります。酒に目覚め、仕事を覚え、多くの知己を得、糟糠の妻さえ得たのも上野です。

学生時代の「神田界限」、勤務先の「湯島」、終の棲家「本郷」と上野を囲む日常生活に不思議な縁を感じる人生でもありました。老舗の若旦那と夜明けまで街を飲み歩き、時には真剣に「町おこし」も、地域の「声」を国会に送り出した事もあります。

生まれ育った旭川に何の恩返しもせず、ひたすら上野界限に明け暮れました。

心のどこかに「旭川への思い」はありながら、上野から脱皮できなかったのは、刺激も中身も濃い毎日が続いたからに他ありません。老舗の味、戊辰戦争、文学の世界、歴史的建造物など、とても短期間で知り得ることは出来ません。極めつけは上野なくして、東京、いえ戦後日本の復興は無かったと断言できることを肌で知りました。

35年ほど前、旭川西高東京同窓会が発足し、3回目の総会開催に向けて動き始めました。実績も乏しく、会場を快く引き受けてくれる手立ても有りませんでした。その時の幹事期が3期、8期、13期、18期、24期でした。「上野精養軒で宜しければ」と言って旭川西高上野支部が動きました。3期の大内秀夫先輩と私が、時の上野精養軒 根津総支配人に了解を戴き、第3回旭川西高東京同窓会が開催されました。以後10年に渡り、上野精養軒で旭川西高東京同窓会の開催が続いたわけです。

今年旭川西高東京同窓会が再び「上野精養軒」開催

う平成！ でもう一度集い、 楽しもう！

と聞き、内心「良かった！」と叫びました。若い方々の上野に対する思いが薄れ、羽田、成田が東京の第一印象と聞きまです。年長期と共に上野も消えてしまうのかと思っておりました。

上野精養軒がビンテージ会場として記憶され、若い方々が旭川西高を更に伝統校として磨きをかけて戴ける事が私の願いでもあります。

あの上野駅

21期 岡部 和幸

上野駅、数年前までは北から上京する時の玄関口とされていた駅である。

私が上京してきた時も当然上野駅で降りた。初めて上野駅に来たのは高校2年生の修学旅行の時。13番線ホームへ降り立った。確か13番線ホームは今とは違い正面改札口から入ると正面1階のホームの一番左側が13番線ホームであり、その13番線は当時修学旅行や団体旅行の専用のホームで、すぐ脇に団体専用の大きな待合室もあり大勢の修学旅行の生徒や一般の団体の人がいて、そこから団体を引率するバスガイドさんや旅行会社の人の持つ旗を先頭に色々な集団が駅を出て行ったのを覚えている。

上野駅と聞くと「あの上野駅」という歌を思い出す。あの歌を聞くと、あの頃の上野駅にいた赤帽、靴磨き屋の高校生、一目でお上りさんと判るおじさんやおばさん、正面改札口の上に並ぶ色々な列車名を書いた看板等を思い出す。今はその思い出も消えてしまいうくらい変わってしまった。まして東京駅まで繋がってからは上野駅で降りることも殆ど少なくなってしまう。今も賑やかな駅ではあるものの、昔のあの頃の上野駅の喧騒と賑やかさは全く別物でありなんとなく寂しさを感じる上野駅になってしまっている。それこそ「あの上野駅」である。



赤帽



靴みがき



上野中央改札口

50年前の上野

16期 竹澤 英子

昭和44年4月に、旭川から函館へ青函連絡船へ青森へ。青森から寝台列車に乗り換え、朝上野到着しました。その頃の上野駅は、♪♪どこかに故郷の香りをのせて♪♪と演歌の歌詞にもあるように地方から来る人、帰る人でにぎわい、懐かしい田舎のにおいがありました。1年後の帰郷も勿論上野発の寝台列車。帰郷する友人達を見送ったりもしました。

住み家が南千住でしたので、上野駅周辺が活動の場所でした。遊びは上野公園で、花見・ボート乗り・美術館巡り……。買物は、昔は露店のイメージのアメ横・小さなデパートのA B A Bで、ミニスカートや厚底サンダルを買いました。バス利用でしたので、途中の浅草では浅草寺詣・浅草国際劇場でのショーを観たり、

南千住の駅には毎日の野球場もありました。歌舞伎町のような繁華街もなく、銀座のように多くのデパートや老舗のお店もない上野の町は、地方から出てきた私でも自然に過ごすことが出来ました。旭川を出てから50年で、都心での生活はこの2年間だけです。洗練された都会人にあこがれていましたが、いまだ北海道気質が抜けない自分です。



函館に係留されている青函連絡船・摩周丸

「上野」の思い出

26期 近藤 光則

「上野」の際に上野駅に着いた」という思い出は、修学旅行以外にはない。私の世代は殆どが羽田空港ではなからうか。当時、スカイメイトなる割引があり、半額で旭川・羽田便に乗れたので、列車での上京は無かった。

ただ、個人的には学生時代に鈍行（普通列車）で旭川まで帰省した思い出がある。当時、上野駅発一ノ関駅（岩手県）行の普通列車がありそれに乗って、仙台駅で降り、仙台の大学に通っている同級生の下宿に泊まらせてもらい、翌朝仙台駅発青森駅行の普通列車で青森へ。その後、深夜の青函連絡船に乗り函館へ。午前6時、函館駅発旭川駅行の普通列車で夕方6時頃に旭川へ到着。到着する頃にはすっかりお尻の具合が悪くなってしまったという、青春ならではの思い出がある。

また、就職してからはお盆や正月の帰省で「急行津軽」や「急行八甲田」を利用して、出稼ぎのおじさんたちと膝詰めで酒盛りをしながら上野発の夜行列車に乗った思い出もある。あの、イカの燻製と日本酒の匂いが入り混じった急行列車が懐かしい。

ありがとう なつかしい上野 語り、

上野から夜行寝台で 帰省の思い出

31期 淵田 清美

31期は飛行機で上京の世代ですが「上野」にはそれなりの思い出があります。まず、懐かしい修学旅行！青函連絡船と寝台特急「ゆうづる」で旭川出発からほぼ1日がかかり着いた上野駅、改札を出ることもなく、最終目的地地都への「ひかり」乗り継ぎだけの上野東京間往復の3泊6日でした。（2泊車中泊！公立高では当時は当たり前）私にとってはこれが初めての「東京」でした。

時は移り、まだ子育て中だった頃、私1人で幼児2人を連れて帰省した事があり、寝台特急「北斗星」2人用個室B寝台を利用しました。

上野駅でお弁当やおもちゃを買って、のんびりと子連れで列車の旅を楽しみました。楽しい旅でした。硬い寝台で眠り、目覚めると北海道で、朝食は食堂車。沿線の景色もよく、終点札幌まで退屈しませんでした。列車を降りてもなんだか体が揺れている感じが抜けなかったのも懐かしいです。

飛行機や新幹線は早くて便利ですが「寝台列車で北海道へ帰ったよ」は今では昔の話になりました。ちょっと淋しく感じています。



昭和39年 初の寝台特急

上野駅の思い出

36期 高橋 純一

1 はじめに
同窓生のみなさん、初めまして。高橋と申します。今回の寄稿にあたり若干自己紹介させていただきます。

実家は神楽岡です。普通科を昭和61年3月に卒業した36期生です。以来33年間東京在住です。この度、「ありがとう」一度集い、なつかしい上野でもう一度集い、語らい、楽しもう！というテーマで私の上野駅での思い出をお話します。

2 上野駅の思い出

高校を卒業し、初めての年末に帰省し、戻りは千歳空港からでした。当日は朝から猛吹雪となり列車が遅れ、乗るはずだった飛行機は既に出発後でした。しかたなく列車で戻ることを決意し、千歳から列車で函館へ、青函連絡船に乗り継ぎ、深夜青森から夜行で盛岡へ、そして新幹線に乗り換えようやく上野駅に辿りつきました。

旭川を出てから実に30時間近く掛かって上野駅に到着しました。今でも上野駅に行くとき当時苦労して東京に戻ってきたことが思い出されます。（翌日の飛行機に乗ればもっと早く東京についていたと思うことは否めません。時代はまだ昭和です。それ以来冬には帰省していません。）

3 おわりに

この年齢になり、同級生と会う機会が急に増え嬉しさが溢れます。また縁というの不思議なもので、現在函館に住む長女の旦那さんも西高卒業生です。（私の弟も西高卒業生で旭川在住です。）これから西高同窓生の縁を大事にし、絆を深めていければいいなと思っておりますので、どうぞよろしく願います。

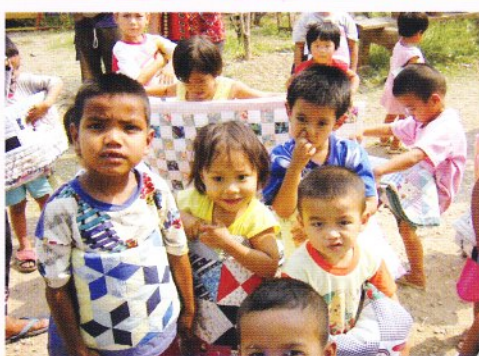
これからも、この先も
旭川の様々なシーンをサポートいたします

電話リゾーツ
OMO7
旭川

〒070-0036 北海道旭川市6条通9丁目
TEL 0166-29-2777

伊豆の国市議会議員
ホテルサンパレー伊豆長岡
取締役 柴田 三 敏（16期）
〒410-2211
静岡県 伊豆の国市 長岡 659
Tel. 055-948-3800 Fax 055-947-0397

スナック つがる
旭川 16 期
常 連 の 店
つがる生まれのママ
旭川市3条6丁目アーキシティービル6F
TEL 0166-27-5574



私のライフワーク

一針一針に思いを込めて 21期 鈴木 寿子

自分に出来ることは何だろう、ボランティアに関わる時こんな思いが心をかすめます。
様々なボランティア活動が日本にも根付き大きな力となつていきます。私の関わる「ABCキルト上石神井」はリスクを負ったアジアの子どもたちにパッチワークキルトを作り直接届けるボランティアグループです。
専業主婦になった頃、社会との関係が切れたような寂しさを覚えました。そんな私にABCキルトは世界に繋がる道を示してくれました。自分の好きなことで人助けになるのはとても嬉しいことでした。端布を縫い合わせ一枚のキルトに仕上げます。生まれながらにしてリスクを負った子どもたちが強く生きて行けることを願い、励ましと応援の気持ちを込めて針を動かします。
これまでタイ、ラオス、ネパ

ル、ベトナム、アフガニスタン、ミャンマーなどに、千枚を超えるキルトを直接または人の助けを借りて子どもたちの手元に届けてきました。物資、衛生面でも最悪の環境の中で子どもたちは暮らしています。パッチワークキルトは肌掛けやおくるみになり敷物にもなります。キルトはそんな子どもたちを笑顔に変え、我々に大きな喜びを届けてくれるのです。どちらが救われているのでしょうか。
楽しみながら無理せず、自分に出来ることをするという基本理念のもとで作られるキルトは温かさが伝わってきます。メンバーは20人程ですが近年、西高同期の仲間が加わり大きな力になっていきます。これからの活動が楽しみです。継続は力なり、気負わずいつまでも地道に針を動かしていきたいと思っています。



第36回総会の風景

若い世代によるあしなが育英会への募金活動が行われました。東北震災時に親を亡くした子供たちへの「あしなが育英基金」に、皆様からの多大なる温かな支援をいただきました。



RUBBER SOUL

24期
久保村 正規
Masaki Kubomura

〒070-0034
旭川市4条通7丁目つづみプラザビル地下1階
TEL&FAX 0166-21-4567
E-mail: rubber-s@beige.plala.or.jp



toyoko-inn.com

東横INN

(株) アイ・ケイ・コーポレーション
代表取締役 加藤 熱子 (21期)

あなたの街の写真屋さん、思い出づくり応援します



(有) カトーカメラ店
旭川市2条通8丁目左1号 TEL:26-5521

21期 加藤 熱子

祝第37回総会 26期一同



日専連旭川

代表取締役会長
鎌田 嘉範 (21期)

東京浅草 お参りしやすい

永代供養墓

真宗大谷派 勝龍山 等寛寺

東京都台東区元浅草 2-10-17

03-3841-2844

浅草 永代供養墓

検索

荒川 繁 (20期) 在住のお寺



第36回総会は、新宿にありますハイアットリージェンシー東京にて、「あいつ、今何してる？」を友を、西高を語ろう」をメインテーマに開催されました。天候にも恵まれ300名に迫る方々に参加いただきました。今回は50期以降の方が5名参加くださいました。

「西高通信」に寄稿頂きました中で、今回のメインテーマに沿った各期の皆さまの寄稿を読むと懐かしかったり、あの人は西高同窓なのだと意外に思ったり、後輩も頑張っているなと思ったりされたことでしょうか。

「歌う看護師」瀬川あやかさんが同窓なのだと初めて知った方も多かったのではないのでしょうか。今後を期待したいですね。ピアノの演奏を披露してくださった村岡奈々さんにも大いに飛躍してもらいたいものです。

今年度のリンクージュアワードは、2017年に第8回デジタルフォトコンテストで準グランプリを受賞した写真部でした。現役の皆さんの活躍も頼もしいものですね。今後更に素晴らしい作品を制作されることを期待いたします。

西高通信への寄稿及び広告協賛にご協力くださいました皆さま、ご支援ご協力いただきました執行部の皆さま、ありがとうございました。実行委員の皆さまのご協力には心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

平成29年度旭川西高東京同窓会会計報告
(平成29年5月1日～平成30年4月30日)

平成30年 6月19日

<収入の部>	実算	前年実算	前年比%	備考
・前年度繰越金	3,164,688	3,171,869		
・年会費 (当日分)	573,000	605,000	95	
(振込分)	(223,000)	(251,000)		
・その他 (総会剰余金)	(350,000)	(354,000)		前年分13,000含む
(雑収入)	150,223	73,291		
	(150,223)	(64,591)		
計	3,887,911	3,850,160		
<支出の部>	実算	前年実算	前年比%	備考
・総会費	88,226	93,662	94	
・西高通信他送料	144,438	144,704	100	
・通信費	9,586	2,971	323	
・印刷・事務用品費	47,140	40,597	116	
・会議費	103,700	105,900	98	
・ウェブサイト維持費	163,728	163,188	100	
・慶弔費	130,000	20,000	650	110周年記念祝金含 鈴蘭塾含む
・若年期対策費	114,641	0		
・その他雑費	20,217	114,450	18	
計	821,676	685,472		
残高	3,066,235	3,164,688	97	

監査報告

会計報告は、証憑書類と照合・精査の結果、正確なことを確認致しました。

旭川西高東京同窓会

監事 大西 登喜雄(18期)



旭川西高札幌会から

一昨年(平成29年)も、ご来賓(旭川西高校長、旭川・東京同窓会長)、恩師をお迎えし、福岡、東京、鎌倉、道内の遠方からも駆け付けてくださり、初参加の8名と34期生まで、総勢85名が総会に集われ、平野晶子さま(6期生)の乾杯、ご来賓のご挨拶、クイズ合戦、お楽しみ抽選会などでアツという間に時が過ぎ、フィナーレは、ご来賓・恩師と参加多数の6期・8期・14期の代表が登場し全員で校歌を熱唱し、梶野宏記さん(顧問・5期生)から「来年もまた元気にお会いしましょう」と次回での再会を約束し、熱気に包まれるなかで懇親会もお披露喜になりましたことご報告します。

お問い合わせ(事務局・14期) 吉田孝一 電話 011-743-6337
〒065-0014 札幌市東区北14条東4丁目 1-35-607

有限会社 ライフステージ
グループホーム ひだまり
ひだまりの家
総合施設長 松原 昭史 (29期)
〒070-8004
旭川市神楽4条1丁目2-4
TEL 0166-69-2222
HP <http://www.life-stage.info>

医療法人社団
井内歯科医院
井内 恭夫 (15期)
〒247-0056
鎌倉市大船1-24-19
TEL 0467-45-5819

KITANOSUMAISEKKEISHA
Original furniture, Interior, Life style, Café & Bakery...
<http://www.kitanosumaisekkeisha.com>
Co.,Ltd
北の住まい設計社
北海道上川郡東川町東7号北7線 Tel.0166-82-4556

四の五の
うるせえ
伍四人。
覗いてみてね! <http://www.anktd.com>

uni.plan
ユニバーサルプランニング株式会社
小林 信雄 (21期)
〒171-0033 東京都豊島区高田 3-31-5
TEL 03-3984-4405 (建築部) TEL 03-3980-6200 (土木部)
FAX 03-3984-4415 E-mail: kobayashi.n@univ-plan.co.jp

入会費お出金 おしゃれな一品 デザイン工房
手づくり工房
& ギャラリー
20期 松田広昭
TEL 090-4028-5241
E-mail: matsuda-@za3.so-net.ne.jp
URL: <http://www.design-subaru.com>
山形県北村市大森町西井出 8240-1

スタア・ラフソディ

3期生 大内秀夫

—西高先輩、桜花会に捧ぐ—

ダダーンと二挺拳銃が火を噴き、舞台の黒幕の前に並べたローソクの火が次々と消えた。アメリカ西部劇の早射ちスタアと喧伝のケニイ・ダンカン、その妙技に子ども達は唖然。これをなんと学校で総見した。

これがインチキだったとは、後に映画にもなり暴露された。

昭和20年日本敗戦。戦時下で抑圧されていた国民は、一挙に呪縛が解けたような解放感で、本物偽物が横行、新生ニッポンはごった煮の時代でもあった。

勿論、テレビなどまだなく、娯楽といえばラジオ、映画、実演ぐらい。現代のように冷暖房設備などのない劇場で、戦時中敵性映画と鎖国状態だった洋画も、洪水のように流れ込んできてボクは溺れた。

戦後初のアメリカ映画「キューリー夫人」、ソビエト（ロシア）初の総天然色映画「石の花」など、目をチカチカさせて学校で総見した記憶もある。

庶民の暮らしも、鯨油の臭う泡のたたない石鹸を羊羹みたいに長いまま売っていたり、酒類もバクダン、メチルアルコールなどの密造酒で鉢を壊した人もいた。また家庭の電圧でパン焼き機を作ったり、タバコの吸い殻を集めタバコ

巻き機を発明したり（誰の発明か知らないが、簡単な素晴らしい発明だった）タバコの巻き紙は、コンサイス辞典が最適とビリビリ破られた。

昭和28年、西高を卒業して上京の折りは、まだ米穀通帳、外食券切符、それと東京在住の保証人の印鑑が必要だった。

そんな時代、ボクには忘れられない本物のスタアがいた。

幼なじみのSの伯母さんの家に居候の居候をしていた折り、Sとふたりで、その頃東洋一と誇る浅草の国際劇場へSKDを観にいった。

当今の若い女性には知らないだろうが、西の宝塚歌劇団に対抗して、昭和3年に誕生した東京の松竹歌劇団SKD。男装の麗人と謳われ人気絶頂のスタア水の江瀧子（ターキー）が昭和28年引退、その後継者として川路龍子、小月冴子、曙ゆりなどのスタアが豪華絢爛たるレビュー、ラインダンスなど大掛りなスペクタクルと共に大人気、女子の観客のみならず東京の観光名物だった。

当時、歌劇スタアのプロマイドは一時期、全映画スタアも追いつかないほどの売れ行きだったというから、その人気のほどが知れようというもの。（プロマイドのマルベル堂）文芸春秋共同刊行

しかし、第18回東京オリンピック（昭和39年）後、高度経済成長と共に娯楽も多様化し、SKDも次第に客足が落ち、国際劇場を離れ地方巡演することとなった。

あれは、旭川巡演で観たのか、記憶はおぼろだが、もう晩年の大スタア川路龍子が広い舞台でただひとり、最後まで菅笠に顔を隠し、スター顔に頼らず、見事な舞を見せた。

魅了されシーンと静まりかえっていた観客も、われに返ったように一泊おいて万雷の拍手を送った。（昭和38年度芸術奨励賞受賞）

それまで舞に興味をもったことはなかったが、以来、地唄舞、能楽、歌舞伎舞などに目を開かせてくれた

切っかけだった。

上野でタウン誌の編集に携わっていた折り、近くの湯島に引退した川路龍子がやはり引退した小月冴子（昭和47年度芸術奨励賞大臣賞受賞）という知り、鼎談に出て貰った。

それが縁で、上野の道で逢うと声をかけてくれるようになった。

ある夏、不忍池畔の骨董市をひやかしていると、懐かしいSKD当時の川路龍子の若衆姿のプロマイドがあった。手にとって見てみると後ろから声をかけられ、ふりむくと当人がほほ笑んでいた。

「この写真は何年の何月、どここの劇場で、撮ったのよ。」

と池畔のホテルの喫茶室へゆき、彼女と待ち合わせていた小月冴子さんと三人で話している時に言われ、数限りなく多くの舞台写真を撮られているだろうに、その記憶力にびっくりした。

このふたりが、かつて満天下の女性たちに夢を与えた大スタアだったとは思えぬ静謐な人柄だった。

ただ、誰もふたりに気付かないのをボクが気にしていたら、

「引退して、年月を経て嬉しいのは、誰にも騒がれず邪魔されず、こうしてゆっくりとお茶できることよ。」

と笑顔で言われたのが、最後の出会いだった。

一世を風靡したスタアが、この世の舞台から静かに去っていった。

あれは、昭和幻想だったのか…。

追悼 川路龍子 1996年4月20日 没
小月冴子 2012年12月3日 没



50年目の
修学旅行

H28.10.23~10.25

16期会

編集後記

平成最後の西高通信です。37回同窓会の開催日はまだ平成ですが、当日はすでに新元号が公表されているとか。であれば返信ハガキに新元号当てクイズ欄を設ければ良かったかと、。

今年は24年ぶりに上野精養軒での開催となり、上野に関係する思い出を多数寄稿して頂きました。その中に挿入した関連の写真は上野駅100年史（発行 日本国有鉄道・上野駅・制作 弘済出版社）から転載を許可して頂いたものです。関係の方々のご厚意に深く感謝申し上げます。（21期編集者一同）